

日清製粉グループ 環境基本方針

理念

地球環境保全は、人類の生存と発展のための社会全体の課題であり、その社会の一員として事業を営む企業にとって、最重要の経営課題です。

日清製粉グループは、「信を万事の本と為す」と「時代への適合」を社是とし、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」ことを企業理念として、当社が地球社会の一員であることの認識を深く持ち、地球的規模での環境保全を図りながら自由で活力ある企業活動を目指します。

行動指針

1. 原材料調達・製造・流通・消費・廃棄に至るすべての段階で環境負荷低減に向け、ライフサイクルを考慮した製品、生産技術・設備技術の開発・設計に取り組みます。
2. 環境関連法規制及び企業行動規範を遵守すると共に、行政当局、国際機関等における環境政策に協力します。
3. 気候変動への対応、脱炭素社会の構築、生物多様性の保全、水資源の有効利用は、持続可能な社会を実現するための人類共通の課題と認識し、すべての事業活動において考慮します。
4. すべての事業活動において、省資源・省エネルギー・廃棄物の削減・再利用・リサイクル、再生可能資源の活用を通じた資源の効率的な利用・循環による環境負荷の低減に努めます。また、適切な化学物質の管理を含めた大気・水質・土壌汚染の予防に取り組みます。
5. 職場環境を向上すると共に、従業員に対し、環境保全に関する情報提供と教育を実施し、環境を常に意識する企業文化の醸成に取り組みます。



6. 環境に関する情報をステークホルダーに向けて発信し、事業活動において環境保全上の問題が生じた場合は、十分な情報公開を行うと共に、環境負荷を最小化するよう適切な措置を講じます。

7. すべての活動拠点において地域社会の一員と認められるよう、地域とのコミュニケーションを通じて、環境課題、ニーズ及び期待を理解し、人々の健康で豊かな生活づくりに貢献します。

8. 環境基本方針実現のため、環境保全活動の定期的な評価、見直しを行い、ステークホルダーと共に継続的改善を推進します。また、適切な実行確認のために環境監査を実施します。

以上

1999年4月27日制定
2019年12月26日改定